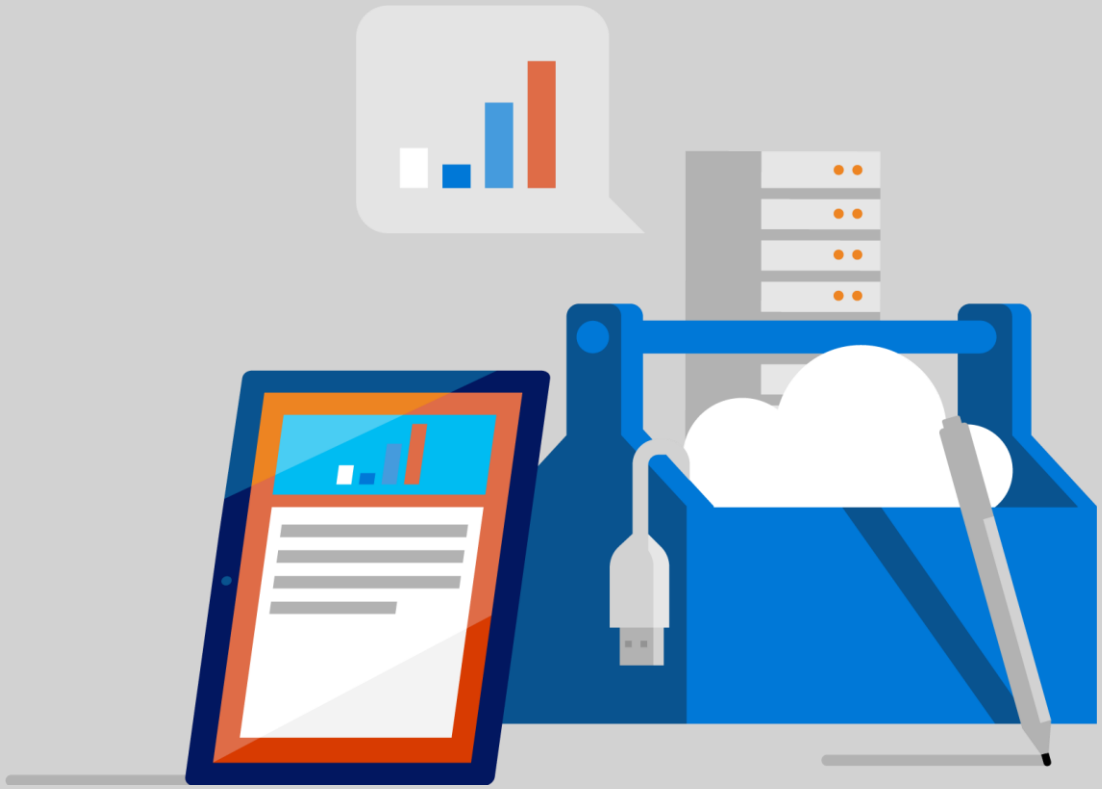
Microsoft

マイクロソフト
脆弱性報告窓口



マイクロソフトのセキュリティへの取り組み

マイクロソフトでは、より安全・安心な製品・サービスを提供するため、さまざまな取り組みを行っています

マイクロソフト セキュリティ レスポンス センターは、お客様がマイクロソフトの製品やサービスのセキュリティ上の脆弱性から被害を受けることを防ぎ、マイクロソフトのクラウドサービスに対する攻撃を迅速に対応しています。

脆弱性報告窓口

マイクロソフトの製品やサービス、あるいは機器の脆弱性を見つけた場合、皆様からのご報告をお待ちしております

脆弱性の報告先

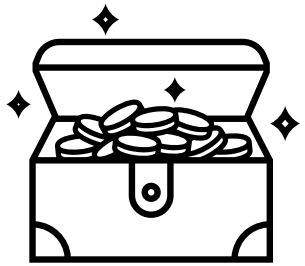
MSRC Researcher Portal

(https://www.microsoft.com/MSRC)

日本語での対応を希望する場合は、日本語でマイクロソフトに脆弱性を報告する方法 を参照してください。

脆弱性報告者に対する報奨制度

脆弱性報告者の貢献を報奨する様々なプログラム

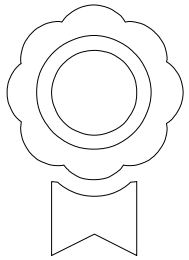


脆弱性報奨プログラム（Bug Bounty）

特定の製品・サービスにおける脆弱性の報告に対する報奨金の贈呈

研究者表彰プログラム

各報告にポイントを付与し、貢献度ランキングを公表



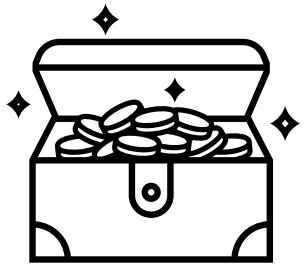
謝辞の掲載

脆弱性の修正時に、謝辞を掲載し貢献を公表*

Microsoft 報奨金プログラム｜MSRC

* 公表を希望しない場合は、謝辞の掲載は行いません

脆弱性報奨プログラム (Bug Bounty) プログラム



脆弱性報奨プログラム
（Bug Bounty）

- マイクロソフトの特定の製品・サービスの特定の脆弱性タイプの報告に対し、報奨金を支払う制度

対象プログラム

プログラム名	対象となる提出内容	報奨金の範囲
Microsoft Azure	Microsoft Azure クラウド サービスの脆弱性レポート	最大 40,000 米国ドル
Microsoft Identity	Microsoft アカウント、Azure Active Directory、または選択された OpenID 標準を含む、ID サービスの脆弱性レポート。	最大 100,000 米国ドル
Xbox	Xbox Live ネットワークとサービスの脆弱性に関するレポート	最大 20,000 米国ドル
Microsoft Online Services	Office 365 など、該当する Microsoft クラウド サービスの脆弱性に関するレポート	最大 20,000 米国ドル
Microsoft Azure DevOps Services	該当する Microsoft Azure DevOps Services の脆弱性レポート	最大 20,000 米国ドル
Microsoft Dynamics 365	該当する Microsoft Dynamics 365 アプリケーションの脆弱性レポート	最大 20,000 米国ドル
Microsoft .NET	.NET Core および ASP.NET Core RTM ならびに今後のビルドに関する脆弱性レポート	最大 15,000 米国ドル
Microsoft Hyper-V	Hyper-V での重大なリモート コード実行、情報漏えい、およびサービス拒否の脆弱性	最大 250,000 米国ドル
Microsoft Windows Insider プレビュー	Windows Insider Preview における重大および重要な脆弱性	最大 100,000 米国ドル
Windows Defender Application Guard	Windows Defender Application Guard の重大な脆弱性	最大 30,000 米国ドル
Microsoft Edge (Chromium ベース)	Microsoft Edge (Chromium ベース) の重大かつ重要な脆弱性。Dev、Bata、Stable チャネル	最大 30,000 米国ドル
Office Insider	Office Insider の脆弱性	最大 15,000 米国ドル
ElectionGuard	ElectionGuard の脆弱性	最大 15,000 米国ドル
防御のための軽減策バイパスと報奨金	最新バージョンの Windows オペレーティング システムに組み込まれている保護に対する新しい攻撃手法。また、軽減策のバイパスの提出に付随する防御のアイデア。	最大 100,000 米国ドル (さらに 100,000 ドルまで追加)
付与: Microsoft Identity	このプロジェクトは、コンシューマー (Microsoft アカウント) およびエンタープライズ を新たな方法で強化する承認済みの研究提案書	最大 75,000 米国ドル

- 本情報は、2021 年 6 月時点の情報です。
- 対象プログラムの最新情報は、Microsoft 報奨金プログラム | MSRC を参照してください。

報奨金プログラム 実績 (FY2019)

15
報奨金対象の
製品・サービス数

13.7億円
年間報奨金支払総額

2000万円
1 件あたりの最高金額

1,226
報奨金対象の
脆弱性報告件数

327名
報奨金受賞者

Microsoft Bug Bounty Programs Year in Review: $13.7M in Rewards – Microsoft Security Response Center

マイクロソフト バグ報奨金プログラム ポリシー

- マイクロソフト バグ報奨金プログラムは、法的条件およびポリシーの対象となります。
  - マイクロソフト報奨金条項
  - **Safe Harbor** ポリシー
- 提出された内容の種類によっては、マイクロソフト バグ報奨金の対象となりません。対象となる提出、脆弱性、または攻撃方法に関する追加情報については、Microsoft 報奨金プログラム | MSRC を参照してください。

MSRC 研究者表彰プログラム

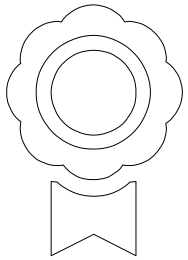
表彰プログラム

各報告にポイントを付与し、
貢献度ランキングの公表

- 各脆弱性の報告にポイントを付与し、一定期間ごとに、ランキングを公表
- Most Valuable Security Researcher (MVR) を Black Hat USA で公表

- MSRC 研究者表彰プログラム (microsoft.com)
- MSRC Security Researcher Recognition: 2021 – Microsoft Security Response Center

脆弱性報奨プログラム (Bug Bounty) プログラム



謝辞の掲載

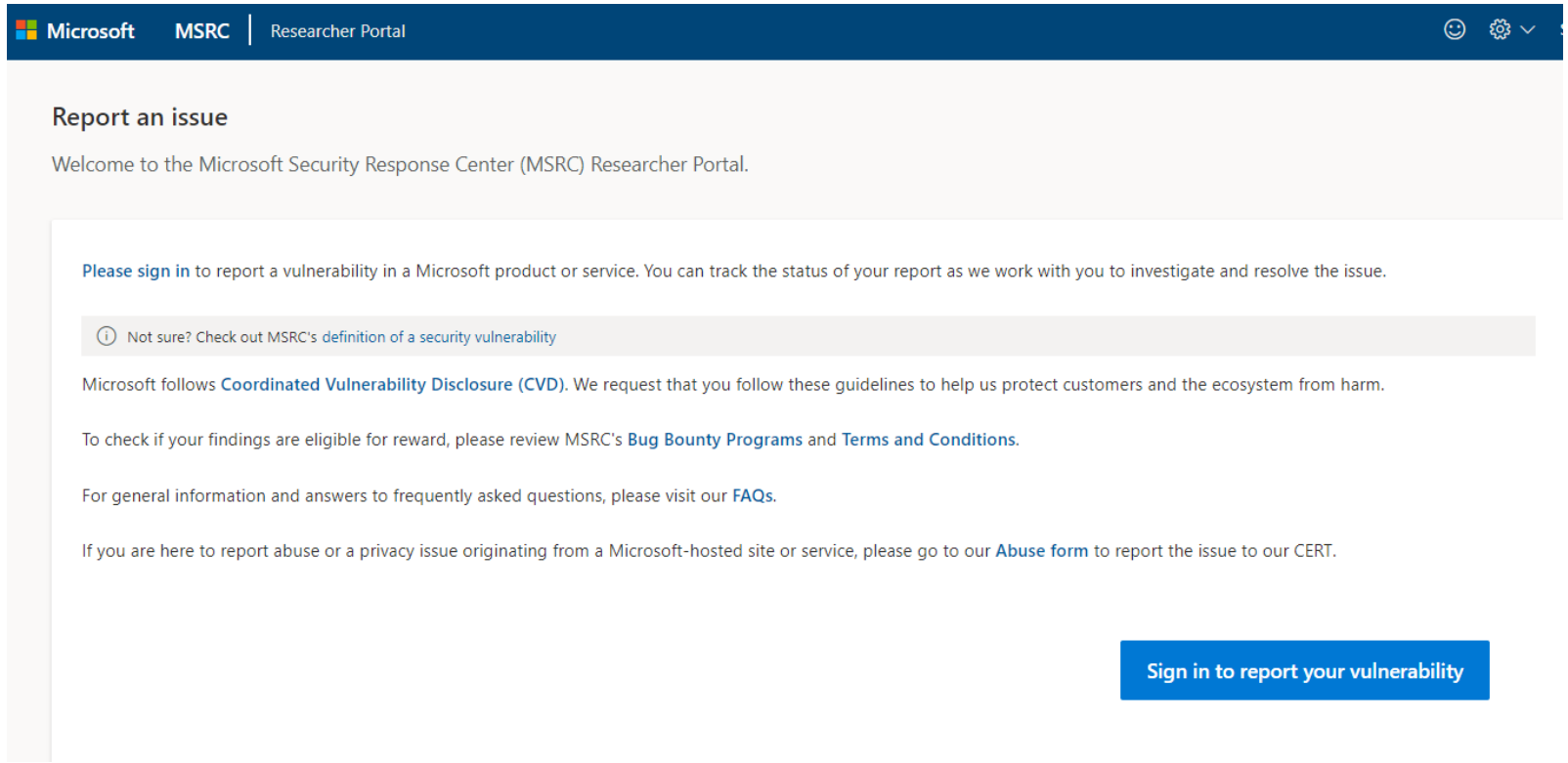
- 修正した脆弱性への貢献を公表
- 報告者の名 (ハンドルネーム含む)、所属などをセキュリティ更新プログラム ガイド上の各脆弱性情報 (CVE) ページ、または報告者リストに掲載

* 公表を希望しない場合は、謝辞の掲載は行いません

マイクロソフトに
脆弱性を報告する方法

脆弱性報告の提出方法

マイクロソフト MSRC Researcher Portal から報告を提出してください。



注意: マイクロソフトでは報奨金の支払いに、 HackerOne および Bugcrowd を使用していますが、脆弱性の報告は MSRC ポータル (またはメール) 経由でのみ受け付けています。

日本語対応を希望する場合

より地域に密接し、多くの皆様から脆弱性に関する情報を受け付けるために、
脆弱性の報告を日本語でも受け付けています。

日本語で脆弱性を報告する方法:

1. マイクロソフト MSRC Researcher Portal から報告を提出してください。
2. 報告フォーム内の「Details of Reproduce」に日本語での対応を希望する旨を記述してください。

・Japanese language communication request: please loop jpsecure@micorosft.com

その他の報告フォームの内容は、日本語でも問題ありません。

日本語でマイクロソフトに脆弱性を報告する方法 – Microsoft Security Response Center

セキュリティの脆弱性と修正に関するポリシー

- マイクロソフトは、セキュリティ上の問題が発生する可能性があるとの報告を受けるごとに、調査を開始します。
- 報告された問題が製品やサービスの脆弱性に該当するかの判断、および修正の方針は、以下のポリシーに従って実施しています

- セキュリティの脆弱性の定義 (microsoft.com)
- SDL Bug Bar - Sept 1, 2016 (microsoft.com)
- Windows での Microsoft セキュリティ サービス提供の基準

協調的な脆弱性の公開

- マイクロソフトでは、協調的な脆弱性の公開 (Coordinated Vulnerability Disclosure: CVD) に基づく脆弱性情報の公表を推奨しています。
  - 第三者が脆弱性の詳細や悪用に関する情報を公開する前に、ベンダーが脆弱性を診断して十分にテストされた更新プログラム、回避策、その他の修正手段を提供できるようにします。
- CVD の詳細については、次のリンクに記載されている情報をご確認ください。
  - 協調的な脆弱性の公開
  - ISO/IEC 29147:2018 on Vulnerability Disclosure (脆弱性の公開に関する ISO/IEC 29147:2018)
  - The CERT Guide to Coordinated Vulnerability Disclosure (協調的な脆弱性の公開に関する CERT ガイド)

バグ報告ガイドライン

- 報告された脆弱性をできるだけ迅速に解決するために、可能な限り詳細な情報の提供をお願いしています。
  - 報告に最低限必要な情報
    - 脆弱性の種類: 報告される脆弱性の種類の分類 (Use After Free やクロスサイト スクリプティングなど)。脆弱性の種類の例については、https://nvd.nist.gov/vuln/categories を参照してください。
    - 影響を受けるコンポーネント: 脆弱性の影響を受けるコンポーネントまたはサービス。これには、コンポーネントの名前と、関連するバージョン情報が含まれている必要があります。
    - 影響を受けるターゲット環境: 脆弱性の影響を受けるターゲット環境 (影響を受けるオペレーティング システムやアプリケーションなど)。これには、ターゲット環境の名前や関連するバージョン情報などの説明を含める必要があります。
    - 脆弱性の再現の出力: 脆弱性が正常に再現された場合の出力。これは、デバッガーの出力、スクリーンショット、ビデオなどで構成されます。
    - 概念実証 (PoC): 脆弱性をトリガーするために必要なすべての手順。
- 可能な場合は、脆弱性の分析など、より詳細な情報の提供もお願いしており、品質の高いレポートに対してより高い報酬を提供しています。最高レベルの品質を提供できない場合でも、脆弱性を報告することを研究者に奨励しています。
- 詳細は、問題の報告と提出に関するガイドライン および サンプル レポート を参考にしてください。

脆弱性報告窓口では受け付けていない内容

脆弱性報告窓口では、マイクロソフト製品・サービスの脆弱性以外の問題は受け付けていません。次のような内容の報告は、各窓口へ報告をお願いいたします。

報告したい内容	報告窓口
GitHub および LinkedIn の脆弱性	Microsoft セキュリティ レスポンス センターでは現在、GitHub および LinkedIn の脆弱性を扱っていません。問題を報告するには、**GitHub のバグ報奨金プログラム**と **LinkedIn のバグ報奨金プログラム**に報告してください。
セキュリティ脆弱性**以外**のマイクロソフト製品・サービスの問題、フィードバック	• 製品に付属しているフィードバック機能 • UserVoice サイト • Microsoft Tech Community
マイクロソフトプラットフォームの悪用	Abuse Report
マイクロソフトのブランドの侵害	Infringement Report
フィッシングサイト	Report an unsafe site - Microsoft Security Intelligence
スパムメール、フィッシングメール	迷惑メールについて Hotmail スタッフに報告するには

報告を送信した後の流れ

Triage
- セキュリティ脆弱性の定義を満たしているかどうかを判断
- 脆弱性に該当する場合は、ケース番号を割り当て

Case
- 脆弱性に該当する場合は、ケース番号を割り当てを実施し報告者に返信
- それぞれのケース担当者の割り当て

Review
- 脆弱性の再現し、深刻度と影響の評価
- 必要に応じて報告者に質問や確認を実施

Develop
- 修正プログラムの作成
- 報奨金プログラムの対象の報告の場合は、報奨のプロセスの実施

Release
- 修正プログラムのリリースおよび脆弱性情報の公表準備
- CVE に該当する場合は CVE-ID の採番

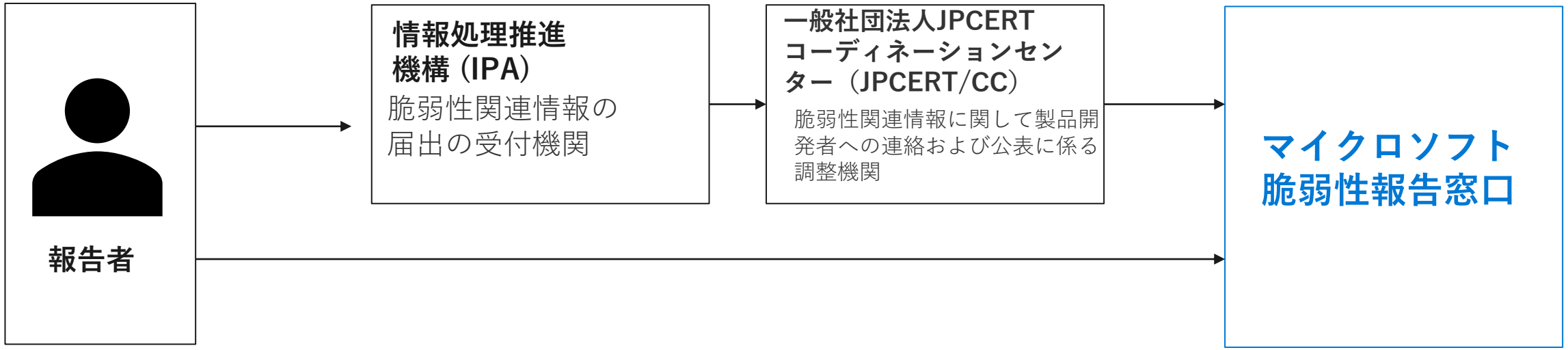
Complete
- 修正プログラム、脆弱性情報の公表完了
- 謝辞の掲載

What to Expect When Reporting Vulnerabilities to Microsoft – Microsoft Security Response Center

よく寄せられる質問

IPA に報告した場合との違い

- 情報処理推進機構 (IPA) では情報セキュリティ早期警戒パートナーシップガイドラインに則り脆弱性関連情報の届出を受け付けしています。
- IPA に届け出されたマイクロソフト製品・サービスに関連する脆弱性は、IPA からマイクロソフトの脆弱性報告窓口に報告されます。マイクロソフトに直接報告した場合は、必ずしも IPA に報告する必要はありません。
  - マイクロソフトが迅速に対応を開始するために、マイクロソフトの脆弱性報告窓口に直接報告をいただける場合は、直接報告をお願いいたします。



問い合わせ先

マイクロソフト脆弱性報告窓口に関するご質問、ご不明点は
jpsecure@microsoft.com (日本語対応可) までご連絡ください。

Follow Microsoft Security

マイクロソフトのセキュリティへの取り組みや最新の製品情報、技術解説をお届けしています。

セキュリティ レスポンスチームブログ
aka.ms/JPSECURITY

Microsoft Security Response Center (MSRC)
aka.ms/MSRC

マイクロソフト セキュリティ
aka.ms/MSSecurity

マイクロソフト セキュリティ チーム
@JSECTEAM

Microsoft 365
@MSOfficejp

日本マイクロソフト株式会社
@MSKKPR

Microsoft

© Copyright Microsoft Corporation. All rights reserved.